

平成 28 年 度

「経営発達支援計画」事業実施報告書

(事業の実績・評価・見直し結果)

茂木町商工会

概要

本報告書は、経営発達支援計画に基づき、茂木町商工会が平成28年度に実施した事業の実績、評価及び見直し結果等についてまとめたものである。

国に提出するほか、当商工会のホームページに掲載し、地域の小規模事業者が閲覧できるようにしている。

なお、評価及び見直しにあたっては、「茂木町商工会経営発達支援計画検討委員会」を組織して、外部有識者等を活用し、公平かつ幅広い意見を取り入れて審議を行った。

茂木町商工会経営発達支援計画検討委員会

■ 目的

経営発達支援計画の年度目標(P)に対する実績(D)の報告を受け、目標達成事業の効果、未達成事業の理由や原因について評価・検証(C)し、推進方法等の見直し(A)を審議する。審議結果を商工会の理事会等へ報告し、次年度以降の事業に反映させていく。PDCAサイクルを有効に回すことで、計画の実効性を高める。

■ 組織（委員名簿）

No.	役名	氏名	所属・役職等
1	委員長	山下典江	ビジョナリーサポート 代表 中小企業診断士
2	委員	小林正徳	茂木町商工課長
3	委員	古田土秀久	茂木町商工課課長補佐
4	委員	荒井清	国民生活金融公庫宇都宮支店
茂木町商工会			
5	会長	大塚康行	
6	副会長	手嶋崇夫	
7	副会長	伊藤正一	

■ 会議開催状況

日時：平成28年8月19日（金）14:00～15:35

場所：茂木町商工会 会議室

日時：平成29年2月6日（月）13:00～15:00

場所：茂木町商工会 会議室

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、「地域の消費者及び小規模事業者の経済動向実態を把握すること」を目的に、各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集・整理・分析及び提供を行う。

「地域と事業者の現状と地域の課題の“見える化”」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 地域経済動向調査

外部機関による調査

調査対象や内容等による区分け・整理、消費者の購買実態・消費動向等に係る分析、小規模事業者の実態・経済動向等に係る分析、分析レポートの作成
以上について、外部専門家へ委託した。

② 製造業状況調査

重点支援対象事業者である製造業（食品製造）11事業者を含む、製造業全体（61事業者）の実態、課題を抽出、把握するため、商工会独自に「製造業状況調査」を実施。

調査項目：経営状況、環境変化、経営課題、経営方針等、今後の経営意向について、事業継承について、商工行政について、町の将来像（ありたい姿）について、商工会に期待する商工振興策について、開催して欲しい事業について、町行政、または商工会に対する要望等について等。会員の実態を調査することで、当該地域内の「製造業」についての課題を抽出した。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		目標	実績	達成率
① 会報送付回数			5 回	3 回	60.0%
② ホームページ更新回数			12 回	9 回	75.0%
③ 調査回数（成果物数） ☆			1 回	2 回	200.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

工業部会及び製造業会員について、経営状況、経営課題、今後の経営意向について、事業継承について、開催して欲しい事業について、町の将来像（ありたい姿）について、町行政、または商工会に期待する商工振興策について、町行政、または商工会に対する要望等について等、課題が明確になった。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

有効性については計画通り実施されているが、活用に至っていないのでこれから活用していく。製造業について厳しい状況が把握出来た。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
B

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
 B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
 C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
 D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 会報送付回数	5 回	±0 回
② ホームページ更新回数	12 回	±0 回
③ 調査回数 (成果物数) ☆	1 回	±0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し (改善等)

*コメント

本年度、調査したデータを基に、次年度に活かして行きたい。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記1. 地域の経済動向調査を踏まえ、「個々の事業者の経営課題を抽出し、事業計画策定の方向性、必要となる需要動向情報の種類・開拓方法を見極めること」を目的に、巡回、窓口相談、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等の活用により、販売する商品・サービス(技術)の内容、保有する技術・ノウハウ、従業員等の経営資源、財務、その他の経営状況の分析を行う。分析結果により抽出された課題については、その解決に向けた事業計画の策定支援へと繋げる。

小規模事業者に寄り添い、目線を合わせることで、「課題の深化と本質を見極める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 経営分析対象者の掘り起こし

全職員による巡回訪問のほか、講習会・セミナーの開催や金融・記帳継続指導を通じて、経営分析が必要な小規模事業者の掘り起こしを実施し経営分析を行った。

② 重点支援対象事業者説明会の開催

平成28年9月5日(月)午後2時~4時 当会2階会議室で開催。重点支援対象事業者に事業の説明会を開催しご理解を頂いた。

③ 経営状況分析セミナーの開催

中小企業診断士を講師として招聘し、本質的な経営課題や自社の強み等を抽出するための分析手法等を習得することを目的に、集団でセミナーを開催。その後、セミナー参加者を対象に個別指導会を行い、各事業者ごとの具体的な経営状況の分析を行った。また、セミナーには職員も参加し、支援技術の向上を図ると共に、セミナー受講をされない事業者への支援に活かした。平成28年9月28日(水)午後2時~4時 当会2階会議室で開催。出席者6事業所。個別相談会平成28年10月26日(水)午前10時~4時当会1階会議室で開催。出席者5事業所。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数	130 回	125 回	96.2%
② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数	13 回	15 回	115.4%
③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数	15 者	11 者	73.3%
④ 経営分析事業者数 ☆	13 者	17 者	130.8%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント
経営分析というタイトルが難しい印象を与え、事業所に敬遠されることが多く参加者が少なかった。参加された方からは、わかりやすかった。理解したの声が多かった。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
	拡充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
○	一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
	縮小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
	廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
	現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

*コメント
経営分析の必要性も含めて検証すべき。全事業所をサポートするには無理があり、やる気のある事業所をサポートすべき。また、経営分析セミナーに参加してもらえるようにPR、勧誘方法等検証すべき。なぜ参加してもらえないのか分析が必要。

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
B

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項目（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	29年度	今年度比
① 経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数	150回	+20回
② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数	15回	+2回
③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数	15者	±0回
④ 経営分析事業者数 ☆	15者	+2回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント
地域の特性を加味し、やる気のある事業所をサポートする。少しでも多く、拾い上げていくよう見直しする。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析結果、及び下記5. 需要動向調査に基づき、「個々の事業者が経営課題を解決し、需要を見据えた事業計画を策定すること」を目的に、巡回や講習会等を通じて、計画策定の指導・助言を、栃木県、近隣の商工会等とも連携し行う。

また、創業・第二創業（経営革新）者には、目指す方向性を確認し、計画策定の指導・助言を行う。

小規模事業者に寄り添い、事業者に“気づき”を与えることで、「計画の実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 経営計画策定セミナーの開催（第4ブロック青年部・女性部）

10月に益子町商工会にて4回実施。当町では参加者1名。

② 経営計画策定セミナーの開催

中小企業診断士を講師として招聘し、地域の経済動向調査によって得られた顧客ニーズ等を踏まえ、経営状況の分析結果に基づき抽出された経営課題を解決するほか、強みを活かした事業計画を策定することを目的に、集団でセミナーを開催した。その後、セミナー参加者を対象に個別指導会を行い、各事業者ごとに具体的な事業計画の策定支援を行う。また、セミナーには職員も参加し、支援技術の向上を図ると共に、セミナー受講をされない事業者への支援に活かした。

平成28年11月21日（月）午後2時～4時 当会2階会議室で開催。出席者14事業所。

個別相談会平成28年12月6日（火）午前10時～午後5時、12月12日（月）午前10時～午後4時。当会1階会議室で開催。出席者11事業所。

③ 創業サポート窓口設置の設置

年間を通して窓口の設置。創業までに至る者1名。

(2) 今年度の目標及び実績等

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数	10回	30回	300.0%
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数	15者	25者	166.7%
③ 事業計画策定事業者数（見直しを行った者も含む）☆	14者	21者	150.0%
④ 創業支援者数	2者	1者	50.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

小規模事業者持続化補助金の申請時期と重なり、経営計画書の作成支援が出来た。自社の経営、事業コンセプト、自社の強み等見直し、将来のビジョンを描くのに効果があったと思われる。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある	今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
必要性							<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
妥当性							<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
有効性							<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他
効率性							

*コメント

今年度は持続化補助金申請という目標があり、成果を上げられた。補助金申請目当てから思考を変えなければいけない。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
A

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
 B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
 C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
 D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数	15 回	+ 5 回
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数	15 者	±0 回
③ 事業計画策定事業者数 (見直しを行った者も含む) ☆	20 者	+ 6 回
④ 創業支援者数	2 者	±0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し (改善等)

*コメント

補助金申請目当てから、思考を変えて計画を立てたい。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者に対し、「事業計画に従って行われる事業が、確実に実施され、課題が解決されること」を目的に、「伴走型」の指導・助言を関係機関とも連携して行う。
 小規模事業者に寄り添い、継続して支援することで、「計画の（修正・見直し対応も含めて）実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 実施支援に係る巡回訪問・支援策の周知・提案

事業計画策定支援を行った小規模事業者に対して、事業者のペースと頻度、必要量を見極め、必要な時に必要なだけの伴走型支援を行う。具体的には、四半期に1度、経営指導員等が巡回訪問し、計画の進捗状況の確認を行うと共に、国、栃木県、茂木町、栃木県産業振興センター等の支援機関が行う支援策の周知・提案、経済・需要動向情報の提供、及び時機にあった必要な指導・助言を行う。支援策の情報収集には、ミラサボ等も活用し、提供できる情報量を増やす。なお、創業・第二創業（経営革新）者には、創業3カ月まで月1度以上の定期的な巡回訪問を追加して行う。また、専門的かつ高度な指導・助言が必要な事業者には、中小企業診断士等の専門家を派遣する。財務的な問題が生じた事業者には、金融機関と連携して問題解決にあたった。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数	80 回	96 回	120.0%
② 実施支援に係る支援策の周知・提案件数	25 回	24 回	96.0%
③ 実施支援事業者数	10 者	24 者	240.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

事業計画策定支援を行った小規模事業者に対して、事業者のペースと頻度、必要量を見極め、必要な時に必要なだけの伴走型支援を行った。経営指導員等が巡回訪問し、計画の進捗状況の確認を行うと共に、国、栃木県、茂木町、栃木県産業振興センター等の支援機関が行う支援策の周知・提案、経済・需要動向情報の提供、及び時機にあった必要な指導・助言を行う。専門的かつ高度な指導・助言が必要な事業者には、中小企業診断士等の専門家を派遣した。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

○ 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○ 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
○ 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
○ 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
○ 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

利用された事業所からは、数値的な成果が感じられる。お知らせ方法について工夫が必要。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定

A

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数	100 回	+ 20 回
② 実施支援に係る支援策の周知・提案件数	30 者	+ 5 回
③ 実施支援事業者数	20 者	+ 10 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント

検討委員会の意見を参考に、お知らせ方法等についても考慮し計画を立てたい。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析を行った事業者に対して、経営分析で把握した事業者の販売する商品・サービス（技術）の需要動向に関する情報について、「将来性判断に有効かつ最新の情報として提供すること」を目的に調査・収集、整理及び分析し、上記3. 事業計画策定支援時、又は、上記4. 事業計画策定後の実施支援に係る巡回訪問時や窓口相談時に提供する。

小規模事業者に寄り添い、情報を噛み砕いて分かりやすく提供することで、「的確な経営判断を行う」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 巡回訪問による調査分析

職員が管内小規模事業者の巡回時に決められた調査項目をヒアリング形式で行う

② アンケートによる調査分析

「プレミアム付商品券の取り扱い事業者」に対しアンケート調査を実施した。また、お買い物券が当たる抽選会を開催し、顧客には商店街で利用できるお買い物券を進呈する。アンケート用紙は巡回訪問時に回収する。（目標標本数：加盟店分）

「もてぎうまいもの市」「あさがお・ほおずき市」「新春商工会まつり」の来場者には、高校生ボランティアの協力により、会場休憩所、出入口で来場者に対し、2、3分で終わるアンケート調査を実施した。アンケート用紙は高校生ボランティアが記入し、アンケートに答えてくれた来場者には粗品を進呈した。（目標標本数：無作為の200名）

③ 消費者モニターとの意見交換会

商工会役員と意見交換会を開催し、決められて質問項目に沿ったインタビュー形式でご意見を頂く。協力を頂いた消費者モニターには商品券を進呈。

④ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析

新聞、雑誌、書籍、インターネット等から各機関が実施する調査等を利用し収集する。
（調査例：総務省統計局「家計消費状況調査」「家計調査」、日本フードサービス協会「データから見る外食産業」、経済産業省「生産動態統計」、国土交通省「建築着工統計調査」「建築物リフォーム・リニューアル調査」）。

(2) 今年度の目標及び実績等

項目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）		目標	実績	達成率
① 巡回訪問による調査分析実施回数			12回	12回	100.0%
② アンケートによる調査分析実施回数			7回	4回	57.1%
③ テストマーケティングによる調査分析実施回数			6回	0回	0.0%
④ 消費者モニターとの意見交換会による調査分析実施回数			1回	1回	100.0%
⑤ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施回数			12回	2回	16.7%
⑥ 実施支援に係る情報提供回数			10回	12回	120.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

全部の調査を実施するにはマンパワー不足は否めない。外部機関の活用などやり方は検討すべき。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある	今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
必要性							<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
妥当性							<input type="radio"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 内容見直し <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
有効性							<input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
効率性							<input type="checkbox"/> 廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
						<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他	

*コメント

アンケートを数多く実施したが、まだ対象者へのフィードバックは不十分であり、データが活かされていない。アンケートのやり方等もふくめ改善の予知あり。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
B

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
- B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
- C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
- D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 巡回訪問による調査分析実施回数 ☆	12 回	±0 回
② アンケートによる調査分析実施回数	9 回	+ 2 回
③ テストマーケティングによる調査分析実施回数	8 回	+ 2 回
④ 消費者モニターとの意見交換会による調査分析実施回数	1 回	±0 回
⑤ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施回数	12 回	±0 回
⑥ 実施支援に係る情報提供回数	20 者	+ 10 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント

アンケートを、外部に委託する等の計画を立てたい。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者（ピンポイントで販路開拓を目指す事業者を含む）に対し、上記5. 需要動向調査で得られた情報に基づき、上記4. 事業計画策定後の実施支援の一環として「課題の解決」を目的に実施する。

小規模事業者が苦手とし、手が回らない広報活動や、展示会等の開催等、ITの活用等、需要の開拓に寄与する事業を行う。

小規模事業者に寄り添い、売上げに直結する“具体的な支援”を行うことで、「計画の実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① ワクワク系の店づくり事業

ワクワク系マーケティング手法を使ったPOP・チラシ・DM等の作成支援。1事業所出展。

- ② スローライフ推進事業
県下全体を網羅し、毎年1万部を発行する“食”のガイドブックへのメニュー（商品）、店舗情報（アクセス・連絡先等）等掲載。1事業所出展。
- ③ ニッポンセレクト.comへの出展
・全国商工会連合会の公式サイト「ニッポンセレクト.com」への掲載手続きと、掲載後の事務補助等。1事業所出展。
- ④ ビジネスマッチング商談会への参加支援
参加手続き、参加費の助成。ものづくり企業展示・商談会2016(11/17) 1事業所出展。フードフェスタin宇都宮(11/21) 3事業所出展。ニッポン全国物産展(11/25.26.27) 1事業所出展。ものづくり補助金展示会(11/29.30.12/1) 1事業所出展。
- ⑤ プレミアム付商品券事業の取扱事業者登録
当地域で行うプレミアム付商品券事業への登録、広報誌への事業者名掲載、売出しチラシの発行。130事業所加盟。
- ⑥ 自社ホームページ作成支援
商工会の簡易ホームページ作成システム「SHIFT」を活用し、システムの導入から公開、利用方法援。11事業所出展。
- ⑦ ふるさと茂木秋まつり（茂木町主催）へのブース出展
出展広報PR、POP作成。6事業所出展。

(2) 今年度の目標及び実績等

項目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① ワクワク系の店づくり事業	1 者	1 者	100.0%
② スローライフ推進事業	1 者	1 者	100.0%
③ ニッポンセレクト.comへの出展	1 者	1 者	100.0%
④ ビジネスマッチング商談会への参加支援	1 者	7 者	700.0%
⑤ プレミアム付商品券事業の取扱事業者登録	100 者	130 者	130.0%
⑥ 自社ホームページ作成支援	12 者	11 者	91.7%
⑦ ふるさと茂木秋まつり（茂木町主催）へのブース出展	5 者	6 者	120.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

ビジネスマッチング商談会へは情報提供すると参加に前向きな企業も多く、来年度は参加費の助成を厚くすればもっと増加する見込みあり。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
○ 拡 充	☑事業の拡大・充実 □新たな展開 □その他
□ 一部改善	□内容見直し □実施方法見直し □その他
□ 縮 小	□事業の縮小 □時限設定必要 □その他
□ 廃止休止	□妥当性なし □当会以外で実施すべき □その他
□ 現状維持	□適切な事業執行 □大幅な変更不要 □その他

*コメント

当初の目標が低かったのか、概ね達成されている。ホームページについては、立ち上げ後も重要で引き続きの支援をお願いしたい。

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
 B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
 C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
 D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① ワクワク系の店づくり事業	2 回	+ 1 回
② スローライフ推進事業	2 回	+ 1 回
③ ニッポンセレクト.comへの出展	2 回	+ 1 回
④ ビジネスマッチング商談会への参加支援	2 回	+ 1 回
⑤ プレミアム付商品券事業の取扱事業者登録	105 回	+ 5 回
⑥ 自社ホームページ作成支援	14 回	+ 2 回
⑦ ふるさと茂木秋まつり(茂木町主催)へのブース出展	5 回	±0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)

*コメント

商談会・展示会は参加費の助成を厚く出来るよう予算組みしたい。前年の実績を下回らないよう努力したい。

7. 地域経済の活性化に資する取組み

商工会が“地域総合経済団体”として行う、地域経済の活性化に資する取組(地域振興事業)は、経営改善普及事業と一応の区別はできるものの、相互に有機的な関連をもっている。

また、地域経済の活性化は、当地域のブランド化やにぎわいの創出といった地域に密着して事業を行う小規模事業者の振興に直結するものであるため、「面的支援」として取り組んでいく。

これまでは、当商工会独自の方針で地域経済の活性化を推進してきたが、今後は、茂木町、金融機関との連携により、「茂木町地域経済活性化委員会」を開催し、今後の地域経済活性化の方向性等を検討すると共に小規模事業者が事業を持続的発展させるための良好な環境を整備する。

(1) 実施した事業内容

① 「茂木町地域経済活性化委員会」の開催

平成28年8月30日(火) 午後2時~午後3時35分 茂木町商工会2階会議室で開催。
 平成29年1月27日(金) 午後1時~午後3時 茂木町商工会2階会議室で開催。今後の地域経済活性化の方向性等を検討すると共に小規模事業者が事業を持続的発展させるための良好な環境を整備した。

② 地域イベント事業の実施

- ①ふるさと茂木春まつり ②夏まつり…茂木町の自然、歴史、文化を活かした、茂木町内の事業者が祭りの時期に、賑わいを創出するため出店した。
 ③彼岸花まつり ④秋まつり…茂木町と商工会による実行委員会が組織され、地域活性化や観光振興を資するため、多くの出店者のもと毎年開催されている。当町市最大のイベントとして開催し、毎年1万人を超える来場者もあり地域経済への波及効果は極めて大きい。当商工会では、地元飲食店の新商品開発、改良、レベルアップを支援する。茂木町内の事業者が地域の活性化を目的に、特産品やグルメ等のパンフレットを作成し、PR販売するため開催した。
 ⑤もてぎうまいもの市 ⑥あさがお・ほおずき市 ⑦新春商工会まつり…茂木町内の商工会員が地域の活性化を目的に特産品やグルメ等をPR販売するため開催した。

③ 「工業展」の実施

町内にある製造企業の販路開拓および就労促進のPRのため、秋まつりに合わせ「工業展」を開催。『製造業会員の企業紹介』、『自社製品のPR』のパネル、看板を作成し展示するとともに、パンフレットを作成しPRを図った。また、加えてものづくり体験教室を開催した。

④ 地域資源を利用したイベントの実施

グランプリロードR123パレード…ツインリンクもてぎと町、商工会によりグランプリロードR123パレード実行委員会を組織し、約千台のバイク参加者により茂木町内をパレードする。「乗り物の町もてぎ」をPRすると、交通安全啓発、国道123号線周辺の観光活性化と地域振興を図った。

⑤ 地域振興券の実施

- ①プレミアム付商品券…当商工会が実施するプレミアム付商品券事業において、発行・販売・回収・取扱事業所募集の協力をを行い、一般市民の消費を喚起すると共に、取扱事業者の売上及びPR効果を図る。
 ②茂木町共通商品券…茂木町内商工業者の売上増加と経済活動の活性化に繋がった。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 出店者数 (春まつり)	10 店	7 店	70.0%
② 来場者数 (春まつり)	1000 名	1000 名	100.0%
③ 出店者数 (彼岸花まつり)	3 店	2 店	66.7%
④ 来場者数 (彼岸花まつり)	3000 名	3000 名	100.0%
⑤ 出店者数 (秋まつり)	6 店	6 店	100.0%
⑥ 来場者数 (秋まつり)	1000 名	1000 名	100.0%
⑦ 出店者数 (あさがお・ほおずき市)	25 店	15 店	60.0%
⑧ 来場者数 (あさがお・ほおずき市)	2000 名	2000 名	100.0%
⑨ 出店者数 (うまいもの市)	35 店	30 店	85.7%
⑩ 来場者数 (うまいもの市)	7000 名	8500 名	121.4%
⑪ 出店者数 (新春商工会まつり)	25 店	15 店	60.0%
⑫ 来場者数 (新春商工会まつり)	2000 名	4000 名	200.0%
⑬ 工業展PR企業数	16 者	18 者	112.5%
⑭ 出店者数 (グランプリロードR123パレード)	2 店	1 店	50.0%
⑮ 来場者数 (グランプリロードR123パレード)	1000 名	1200 名	120.0%
⑯ 出店者数 (SLおもてなし広場)	10 店	0 店	0.0%
⑰ 来場者数 (SLおもてなし広場)	1000 名	0 名	0.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント
 地域イベントが数多い。マンパワー、スタッフ不足は否めない。選択と集中しないと運営が厳しい状況。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

成果を検証し、選択と集中を行いたい。町外に対するイベントは、情報発信の意味も含め拡充したい。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
B

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）		29年度	今年度比
① 出店者数（春まつり）			12 店	+ 2 回
② 来場者数（春まつり）			1100 名	+ 100 回
③ 出店者数（彼岸花まつり）			4 店	+ 1 回
④ 来場者数（彼岸花まつり）			3100 名	+ 100 回
⑤ 出店者数（秋まつり）			7 店	+ 1 回
⑥ 来場者数（秋まつり）			1100 名	+ 100 回
⑦ 出店者数（あさがお・ほおずき市）			25 店	±0 回
⑧ 来場者数（あさがお・ほおずき市）			2000 名	±0 回
⑨ 出店者数（うまいもの市）			40 店	+ 5 回
⑩ 来場者数（うまいもの市）			8000 名	+ 1000 回
⑩ 出店者数（新春商工会まつり）			25 店	±0 回
⑫ 来場者数（新春商工会まつり）			2000 名	±0 回
⑬ 工業展PR企業数			17 者	+ 1 回
⑭ 出店者数（グランプリロードR123パレード）			3 店	+ 1 回
⑮ 来場者数（グランプリロードR123パレード）			1100 名	+ 100 回
⑯ 出店者数（SLおもてなし広場）			12 店	+ 2 回
⑰ 来場者数（SLおもてなし広場）			1100 名	+ 100 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント

検討委員会の意見を参考に、事業計画を立てる。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。

事業を推進する職員が、他商工会の職員や支援機関と、支援事例や支援ノウハウ、事業者の現状、課題等について情報交換を行う。

また、役員は、他商工会の役員と、支援体制や商工会の現状と課題等について情報交換を行う。

(1) 実施した内容

- ① 第4ブロック職員情報交換会の開催（12/16）
- ② 第4ブロック連絡会議への参加（11/8、12/13）
- ③ 県連が開催する各種セミナーでの情報交換
- ④ マル経協議会での情報交換（8/3、8/18、11/25）
- ⑤ 地域内金融機関との情報交換
- ⑥ 茂木町中小企業融資振興会への参加
- ⑦ アクションプランによる実践状況の判定
- ⑧ 経営発達支援計画事業推進連絡会議の開催（11/22）

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

職員同士の情報交換会を開催し、支援事例とその効果・留意事項、支援内容の傾向、特殊事例、新しい支援策の利用方法といった支援ノウハウや現状、課題、小規模事業者の需要動向等について情報交換を行い、経営指導員等による効果的な小規模事業者支援の推進が図れた。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="checkbox"/>	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

関係機関と良好な関係が保たれており、現状維持でお願いしたい。

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント

適切な事業執行をし、関係機関と良好な関係を継続して築いていきたい。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。
事業を推進する職員の研修派遣、OJT、勉強会開催により資質向上を図る。

(1) 実施した内容

- ① 県連が開催する職種別セミナーへの参加
- ② セルフアセッサーセミナーへの参加
- ③ 内部勉強会の開催（9/1）
- ④ OJTの実施（先輩職員や専門家に同行し支援を行う）

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

事業を推進する職員の研修派遣、OJT、勉強会開催により資質向上を図るほか、当商工会組織としての支援ノウハウの共有及び蓄積を行った。今後は、計画的な研修派遣、組織的な支援ノウハウの共有及び蓄積ができるよう改善し、事業者支援に効果的に活用したい。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="checkbox"/>	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

事業を推進する職員の研修派遣、OJT、勉強会開催により資質向上がなされている。職員が少人数なこともあり、計画的な研修を望む。

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント

職員が少人数なこともあり、計画的な研修を計画したい。

10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

経営発達支援事業の目標達成に向け、経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。
当商工会組織としての支援ノウハウの共有及び蓄積を行う。

(1) 実施した内容

① 支援ノウハウの組織的な蓄積

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント

研修参加者は、研修後、資料付きの復命書を全職員に回覧し、情報の共有化を図るとともに、毎日の朝礼、終礼において打合せが行われ、支援ノウハウの共有及び蓄積ができ、職員の指導レベル向上に繋がった。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかというところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="checkbox"/>	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="radio"/>	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント

支援ノウハウ等を組織内で共有する体制が整っている。現状維持でお願いしたい。

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント

支援ノウハウ等を組織内で共有する体制を継続していく。

1 1. 施策利用状況等（その他取組み状況）

(1) 今年度の実績

項 目（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	実績	前年度
①持続化補助金申請件数	21 件	9 件
（うち、採択件数）	7 件	6 件
②経営改善資金（マル経）利用件数	3 件	8 件
③経営発達支援資金利用件数	0 件	0 件
④小規模事業者に対する巡回訪問件数	1500 件	1307 件
⑤小規模事業者数	585 者	585 者
（うち、会員小規模事業者数）	502 者	502 者

(2) 今年度の実績に対する内部の評価

*コメント

小規模事業者経営発達資金（日本政策金融公庫）の会員周知を行ったが実績は上がらず。まだまだ浸透するのには時間がかかると思われる。

(3) 今年度の実績に対する検討委員会の評価（意見等）

*コメント

概ね事業推進が図れている。改善するところは改善し、より良きものにしたい。

(4) 次年度に向けた見直し（改善等）

*コメント

検討委員会で頂いたご意見を参考に、事業の見直しを図り次年度事業計画を立てていく。評価も、今年度を上回るように努力したい。